

国の長期目標

国では、次世代までつなぐ持続可能な社会を実現するため、「循環」共生「参加」「国際的取組み」の四つを長期目標に掲げ、環境保全を推進しています。有害物質による土壌や地下水の汚染など、将来にわたって影響が残る可能性のある環境課題（環境上の『負の遺産』）を、今生きているわたしたちの世代で責任をもつて解決し、将来の世代にまで残さないことを目指しています。そのためには、資源やエネルギーを効率よく利用しながら、私たちのライフスタイルや事業活動のあり方を根本から見直していく必要があります。

環境省では、21世紀の新しい社会のデザインとして「簡素」で「質」を重視した社会「環境と共生する環の国 日本」を提唱しています。この「環の国」づくりには、市民、企業、NGO、行政などすべての人々が環境意識を高め、環境保全に取り組み実践していくことが大切です。

【NGO】《nongovernmental organization》
非政府組織 国際的な活動を行う非営利の民間協力組織

田原市の環境保全計画



田原市では、環境の保全に関する施策を総合的・計画的に推進するため、平成10年度に「環境保全計画」を策定していますが、合併後のまちづくりや近年の環境課題に対応するため、本年度から計画書の見直しを行います。内容の改訂を行います。

今回の改訂に関連して、本年度は過去の環境保全施策などの点検を行い、生活環境、自然環境など環境の現況や地域社会の現状と動向を把握するとともに、市民の皆さんの意識調査やヒアリングなどの基礎調査を予定しています。また、身近な生活環境を中心に市民の皆さんとも意見交換しながら、暮らしに直結する環境問題について検討を進めます。そして、来年度には環境保全目標を定めるとともに、具体的な環境施策、推進体制など検討し、新しい「環境保全計画」を作成する予定です。

日常生活における環境負荷

【資料】環境省試算

自動車

● 2.4人に1人が乗用車を保有

世帯あたりガソリン代

51,800円/年



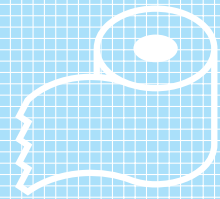
買物

一人あたり、衛生用紙の消費量

37g/日

非耐久財 154万円/年

耐久財 26万円/年



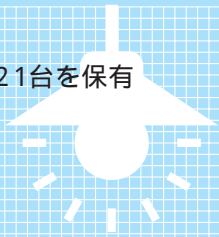
電気

● 一世帯あたり、家電製品約21台を保有

電気消費

一人あたり 5.5kWh/日

世帯あたり 約 11.2万円/年



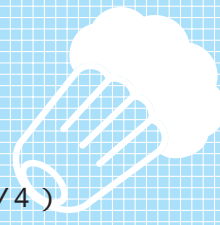
食料

一人あたり供給量

2,645kcal/日

一人あたり廃棄食料

697kcal/日(供給量の1/4)



掃除・洗濯

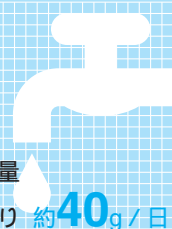
● 一世帯あたり、衣類300枚以上を所持

家庭で使う上水道

一人あたり 95ℓ/日

洗剤使用量

一人あたり 約 40g/日



ごみ

ごみの排出

一人あたり 743グラム/日

処理事業経費 18,700円/年

うち包装容器ごみ 一人あたり 176グラム/日

